

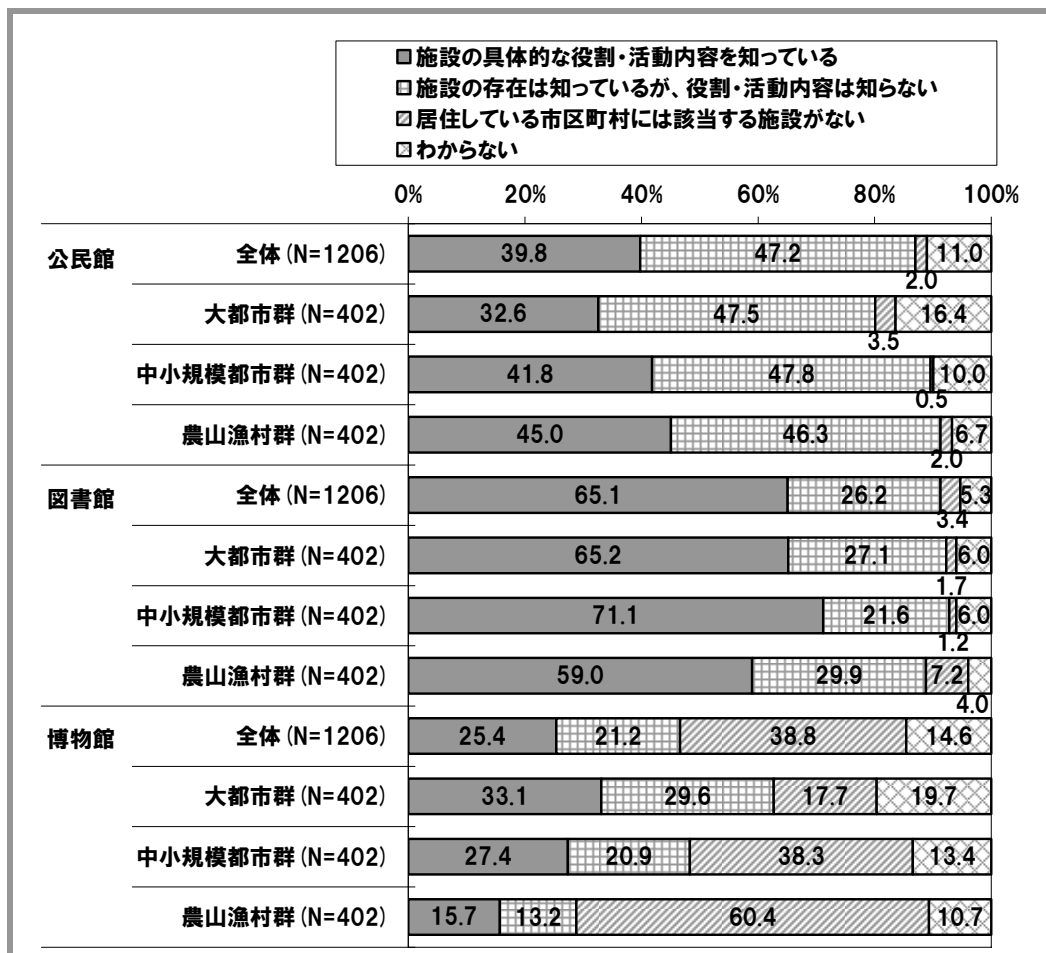
平成22年度「生涯学習施策に関する調査研究」
社会教育施設の利用者アンケート等による効果的社会教育施設形成に関する調査研究

本調査では、大都市群（人口 30 万人以上）、中小規模都市群（人口 3 万人以上 30 万人未満）、農山漁村群（人口 3 万人未満）の住民を対象に、WEB アンケートモニターを活用し、社会教育施設の認知度、使用状況等に関するアンケート調査を行いました。

1 社会教育施設の認知度

居住している市区町村にある社会教育施設について質問したところ、「施設の具体的な役割・活動内容を知っている」との回答は、公民館が 39.8%、図書館が 65.1%、博物館が 25.4%でした。また、「施設の存在は知っているが、役割・活動内容は知らない」との回答は、公民館が 47.2%、図書館が 26.2%、博物館が 21.2%でした。

図表1 社会教育施設の認知度



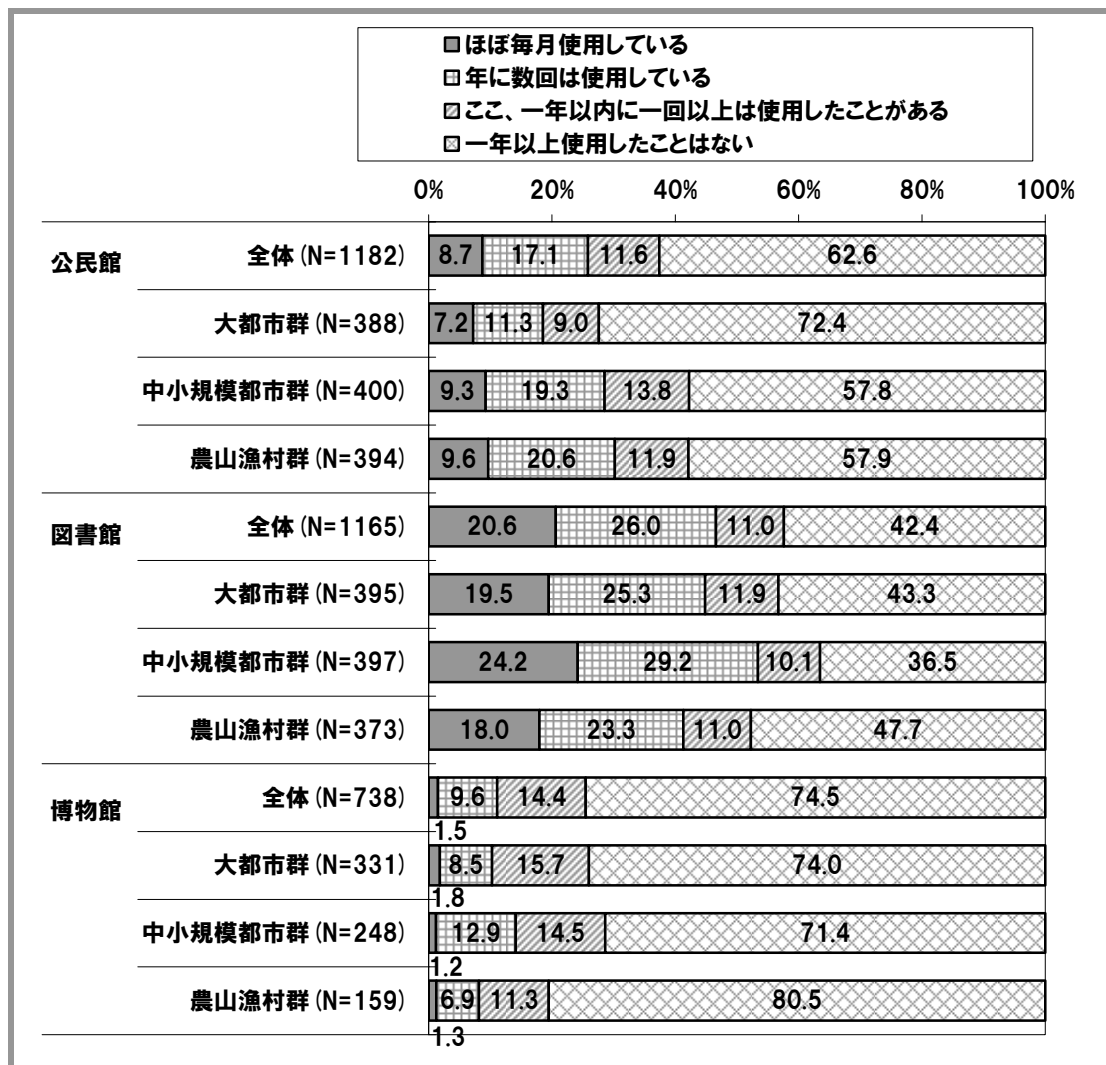
2 社会教育施設の使用状況

社会教育施設の使用状況について質問したところ、年に数回以上使用（「ほぼ毎月使用している」と「年に数回は使用している」の合計）しているとの回答は、公民館が 25.8%、図書館が 46.6%、博物館が 11.1%でした。

一方、「一年以上使用したことはない」との回答は、公民館が 62.6%、図書館が 42.4%、博物館が 74.5%でした。

公民館については、自治体の人口規模が小さいほど、年に数回以上使用している住民の割合が高くなる傾向がみられました。

図表2 社会教育施設の使用状況



* 認知度に関する質問で「居住している市区町村には該当する施設がない」と回答した者を除いて集計した。

3 学習内容別の利用施設

「外国語」を学習していると回答した住民のうち、公民館を活動場所としている住民は4.5%、図書館は10.3%、博物館は0.0%でした。

「ビジネス、商業実務、職業スキル」を学習していると回答した住民のうち、公民館を活動場所としている住民は5.8%、図書館は18.8%、博物館は0.0%でした。

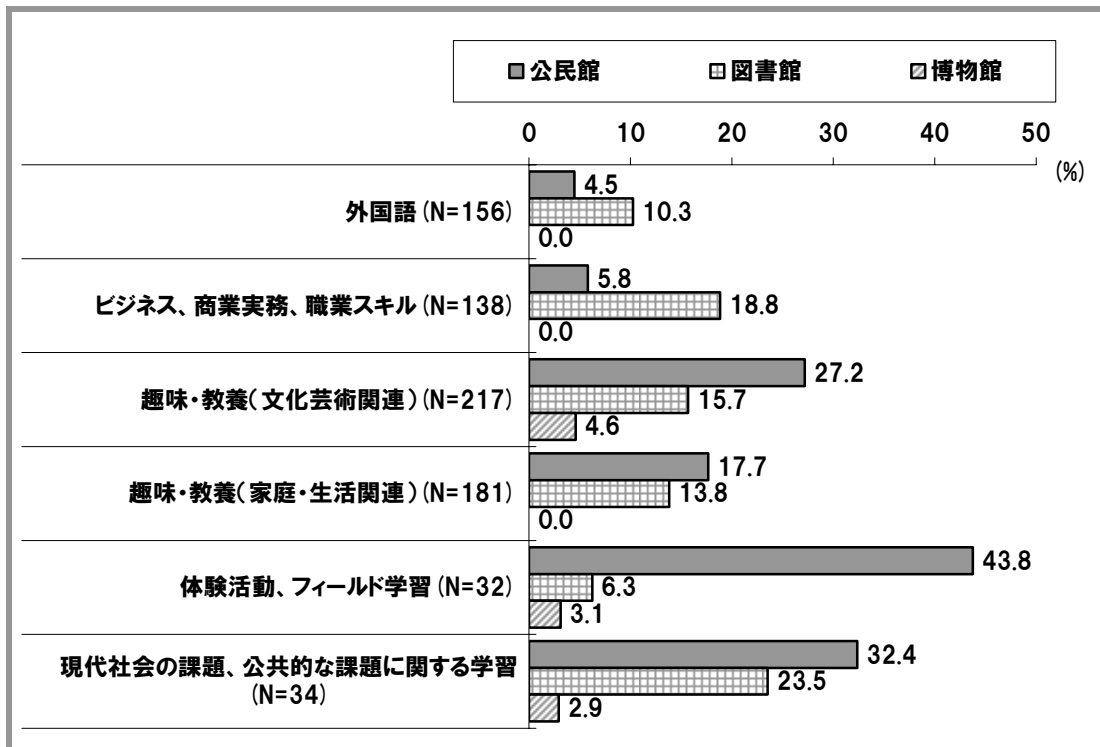
「趣味・教養（文化芸術関連）」を学習していると回答した住民のうち、公民館を活動場所としている住民は27.2%、図書館は15.7%、博物館は4.6%でした。

「趣味・教養（家庭・生活関連）」を学習していると回答した住民のうち、公民館を活動場所としている住民は17.7%、図書館は13.8%、博物館は0.0%でした。

「体験活動、フィールド学習」を学習していると回答した住民のうち、公民館を活動場所としている住民は43.8%、図書館は6.3%、博物館は3.1%であった。

「現代社会の課題、公共的な課題に関する学習」を学習していると回答した住民のうち、公民館を活動場所としている住民は32.4%、図書館は23.5%、博物館は2.9%でした。

図表3 学習内容別の利用施設



4 社会教育施設への要望

各施設への要望について質問したところ、公民館は「気軽に立ち寄れる雰囲気を作って欲しい」が最も多く 22.9%、図書館は「蔵書数を増やして欲しい」が最も多く 32.8%、博物館は「もっと家に近い場所にあると良い」が最も多く 19.8%でした。

図表4 社会教育施設への要望

